



博多ステーションビル 2023年度概況報告

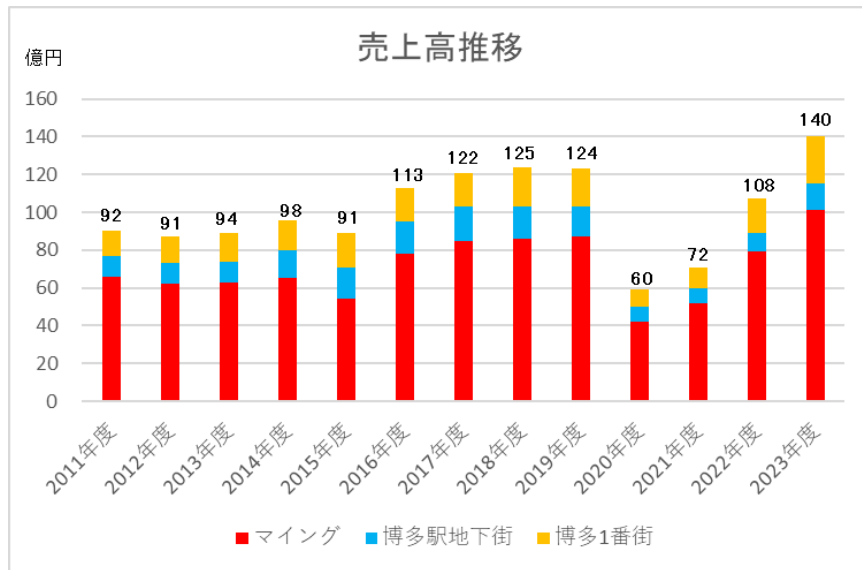
博多ステーションビルが運営する商業施設の2023年度(2023年4月～2024年3月)営業概況を報告いたします。

1. 売上高


売上高 140億円 (前年比:129.4%、2018年度比:111.9%)

※3施設(マイング・博多駅地下街・博多1番街)のテナント売上高

- ・国内外の広域来街者を中心に入館者の増加傾向が続き、売上高は前年比129.4%と大きく伸長し、コロナ禍前(2018年度)を超える実績
- ・当社の運営する商業施設が2011年に現在の3館体制※になって以降、最高の売上を達成 ※マイング、博多駅地下街、博多1番街
- ・「マイング」は2015年のリニューアル以降、初の年間売上100億円超え
- ・「博多1番街」は2011年の新規開業以降、最高の売上を達成



<施設内訳>

施設名	売上高 (前年比%)
 マイング HAKATA Ekinaka Shopping	10,153 (127.5%)
博多駅地下街	1,432 (135.3%)
博多1番街	2,513 (134.3%)

※単位: 百万円

2. 概況

九州最大級のおみやげ処である「マイング」では、10月以降コロナ禍前(2018年度)を上回る入館者で推移しました。業種別ではおみやげ需要が高い和洋菓子が売上を牽引し、前年比127.5%で推移しました。

「博多駅地下街」では、飲食需要の高まりから飲食への業態変更を積極的に実施しました。お食事や夜の飲食など、様々な需要に対応した新店が売上を牽引し、前年比135.3%を達成しました。


博多の食をカジュアルに楽しめる飲食フロア「博多1番街」では、博多駅周辺の宿泊客の朝食需要の高まり、近隣ビジネス客のランチ需要の回復、夜の飲食需要の伸びを受けて、前年比134.3%と好調に推移しました。



3. 博多ステーションビルの概要

博多ステーションビルは1961年、九州の玄関口・博多駅(3代目)の開業とともに、当時の国鉄、福岡市、商工会議所及び地元企業が協力して、商業施設を付帯した駅ビル会社として設立されました。現在は博多駅直結の「マイング」「博多駅地下街」「博多1番街」の3つの商業施設を運営し、国内外の多くのお客さまに快適で便利な場所を提供しています。

■施設概要

施設名	 マイング 博多 エキナカ SHOPPING	博多駅地下街	博多1番街
テナント構成	お土産・食品・スーパー・惣菜 ファッション雑貨・飲食	物販・ファッション雑貨 飲食・生活サービス	飲食
テナント区画数	94区画	22区画	14区画
店舗面積	約3,741㎡	約1,392㎡	約1,140㎡
入館者数(2023年度)	2,135万人	1,594万人	935万人



■会社概要

(1) 名称	株式会社博多ステーションビル
(2) 所在地	福岡県福岡市博多区博多駅中央街6番11号
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 関 信介
(4) 事業内容	不動産賃貸事業
(5) 資本金	200百万円
(6) 設立年月日	1961年3月3日

《本件に関するお問い合わせ先》

(株)博多ステーションビル 営業部 箕田(ミノダ) TEL:092-431-1123 Email: minoda@hakata-sb.co.jp